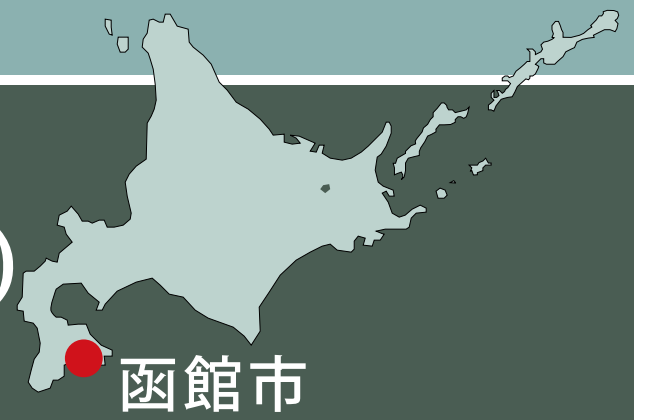


旧岩船庭園「香雪園」(函館市)



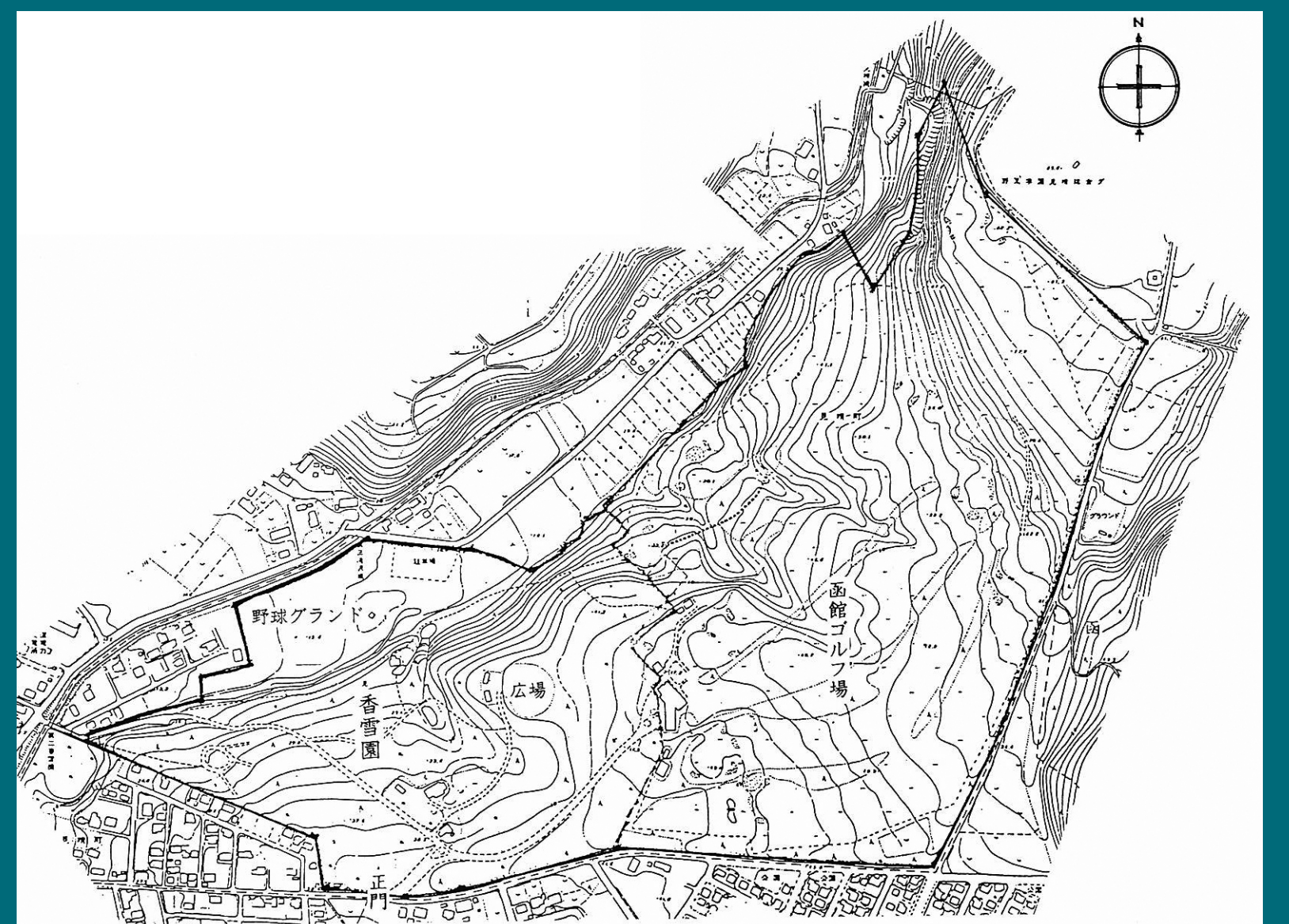
函館市



明治の豪商による本格的日本庭園

香雪園は、函館市の都市公園である見晴公園の一角を指し、明治の豪商 岩船峯次郎が巨費を投じて作り上げた、道内には珍しい本格的日本庭園である。明治末期に建てられたと考えられる煉瓦造の温室や本格的な茶室のある園亭も残されており、近年緑の相談所も併設されて、多くの市民に親しまれている。

京の庭師の手による造作や本州から運ばせた大量の樹木は現在も当時のまま維持されているが、13ha という広さや、当初から運動場や園遊会などに利用されていた公開された空間であり、庭園とも公園とも違う不思議な雰囲気を持っているといえよう。



見晴公園の全体図

概要

名称	旧岩船公園「香雪園」
所在地	函館市見晴町 56 番地
管理者	函館市
規模	46.1ha
種別等	見晴公園：都市公園（総合公園）
開園年	1958（昭和33）年 3月見晴公園として開園
告示年	1976（昭和51）年都市公園告示



書院造りの園亭

2001（平成13）年文化財保護法に基づく「名勝」の指定を受け、「旧岩船氏庭園（香雪園）」の名で北海道唯一の国指定文化財庭園となった